



霊宝のまちの
ばあい

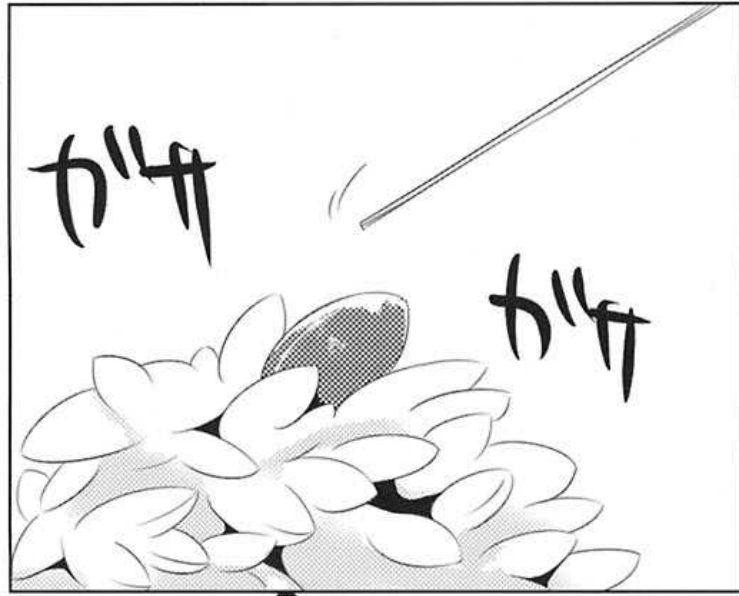
Touho Project.
presented by Kuma-puro.



雪華のふんちの
はあし

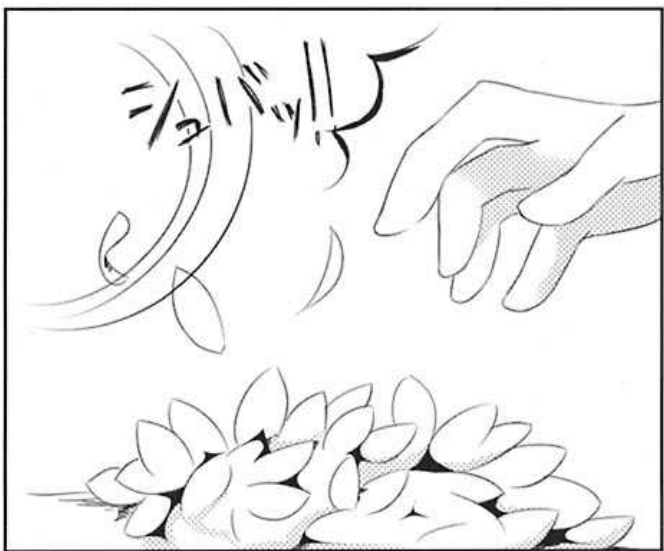
Touhou Project
presented by kuma puro

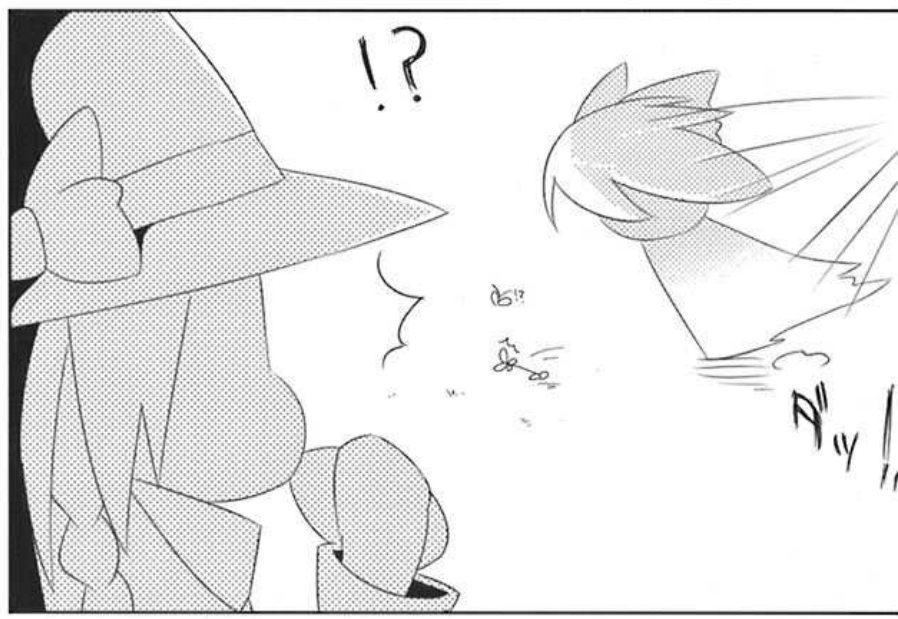
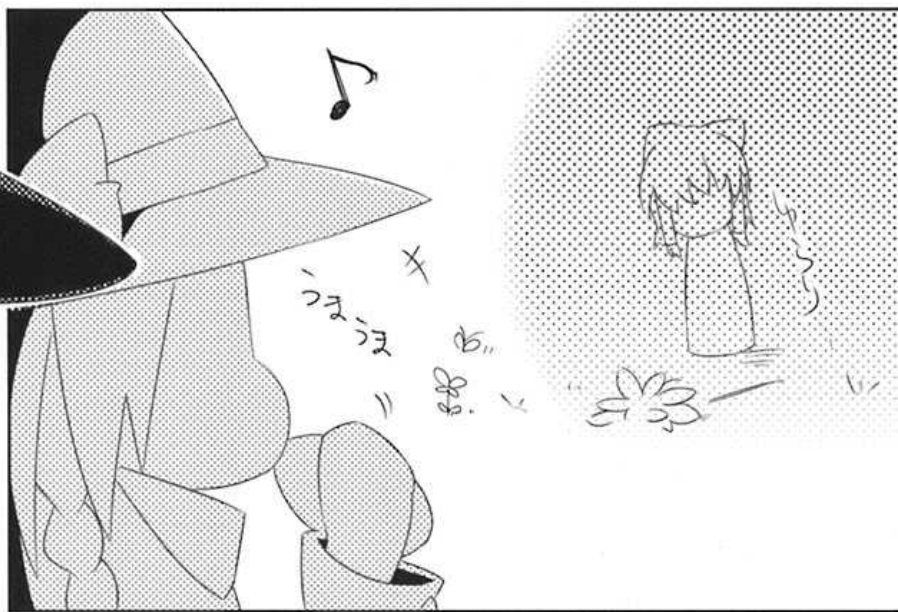
幻想郷
博麗神社



霊のいのちの
はあ、



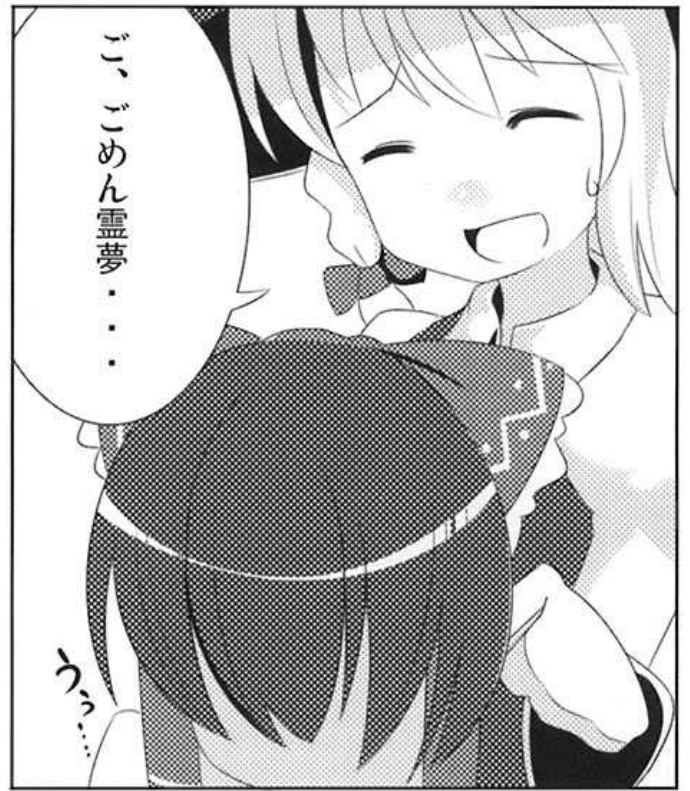




い、いやちょっとまで！
今のは私が悪かった！
返すからさ！

いらないわよ！！

あんた！
覚悟は出来てるでしょうね！！





ここで
紅魔館

で？



正直文が言ってるってのが
あまり信用できないのよねえ

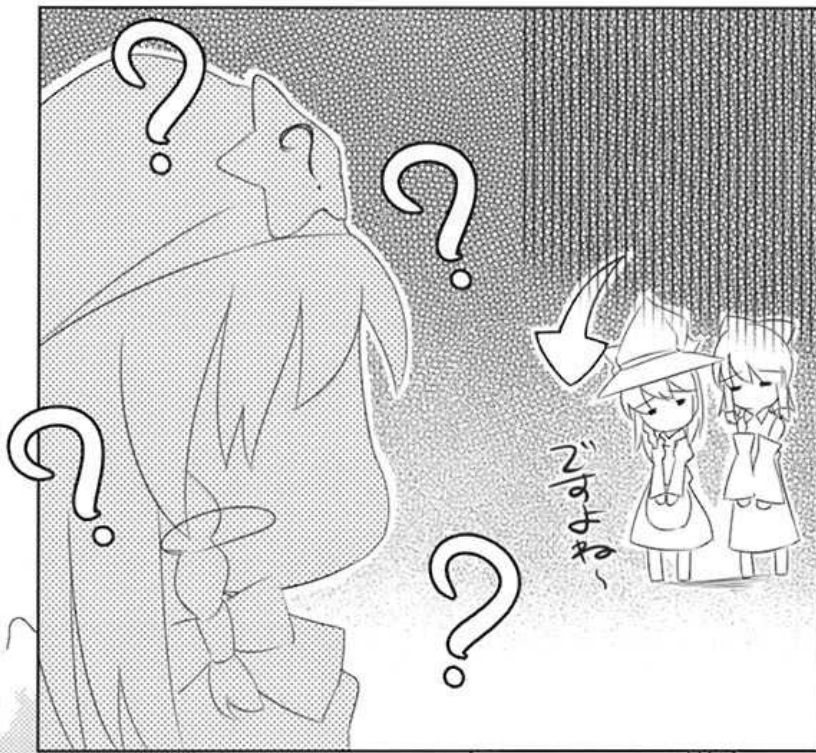


で？



と、とりあえず
門番の美鈴に聞いてみようぜ。

チラシ見て
書いてあった通りにここまで
来てみたのはいいけれど...



マツタケ?
なんですか?それ?



私毎日ここで門番してますが、
特に怪しい方は見ていませんよ。
庭の方はちょっとわかりませんが。

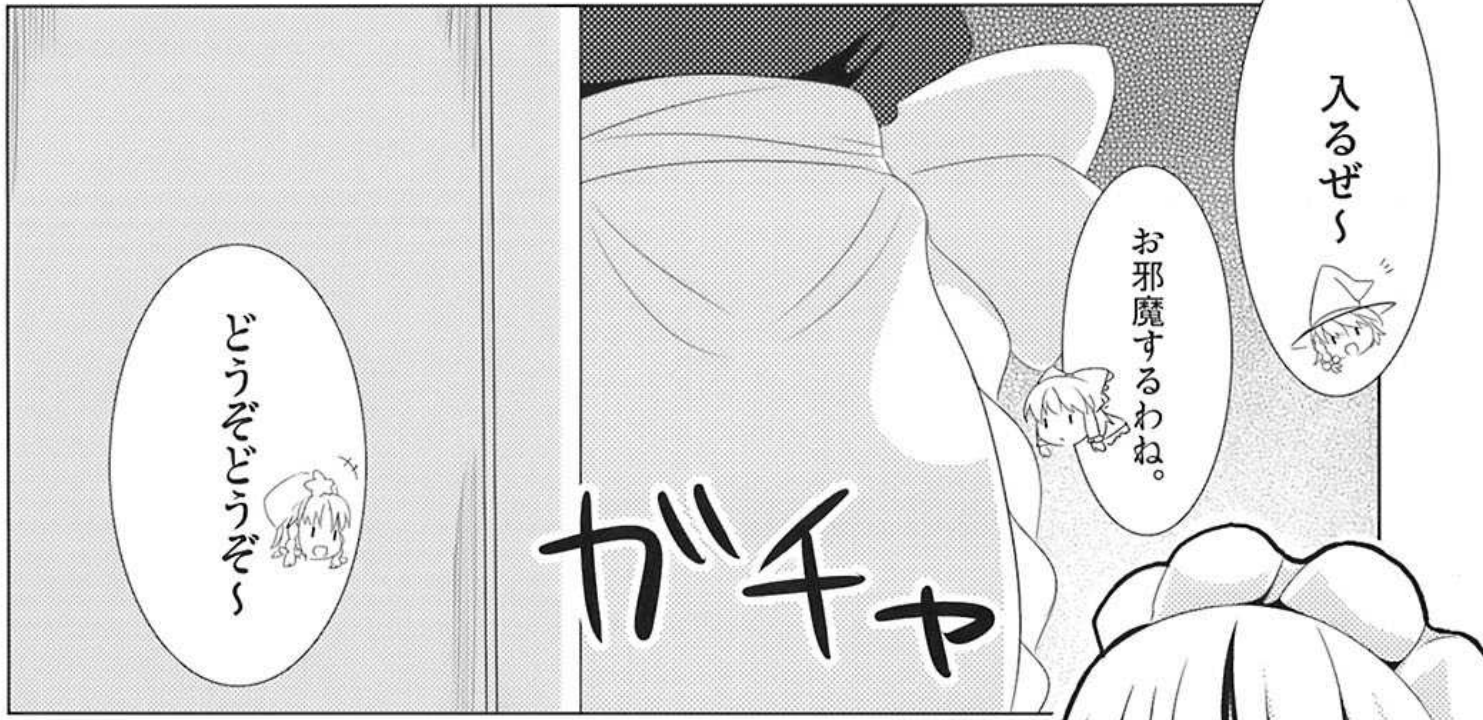
一応中にいらっしゃる
パチュリー様と咲夜さんにも
聞いて見ましようか。



『文々。新聞』の
広告に入ってたんだ。
今日から紅魔館で
マツタケ狩りがあるって。

まあ文の書くことだから、
信憑性のかけらも無いんだけどね。

美鈴は何か知ってる



入るぜ〜

お邪魔するわね。

がチャ

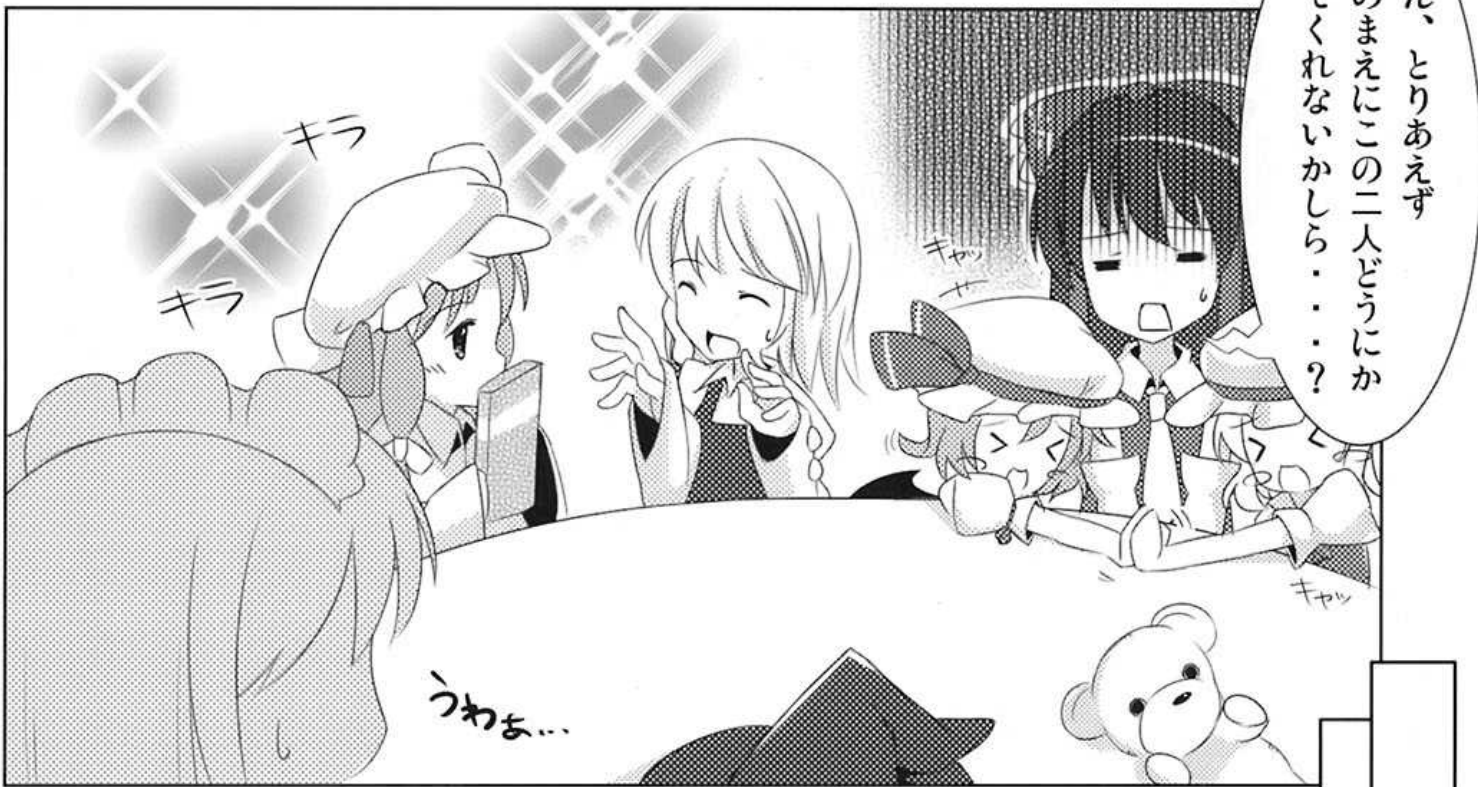
どろろどろろどろろ



魔理沙!

霊夢〜

霊夢だ〜

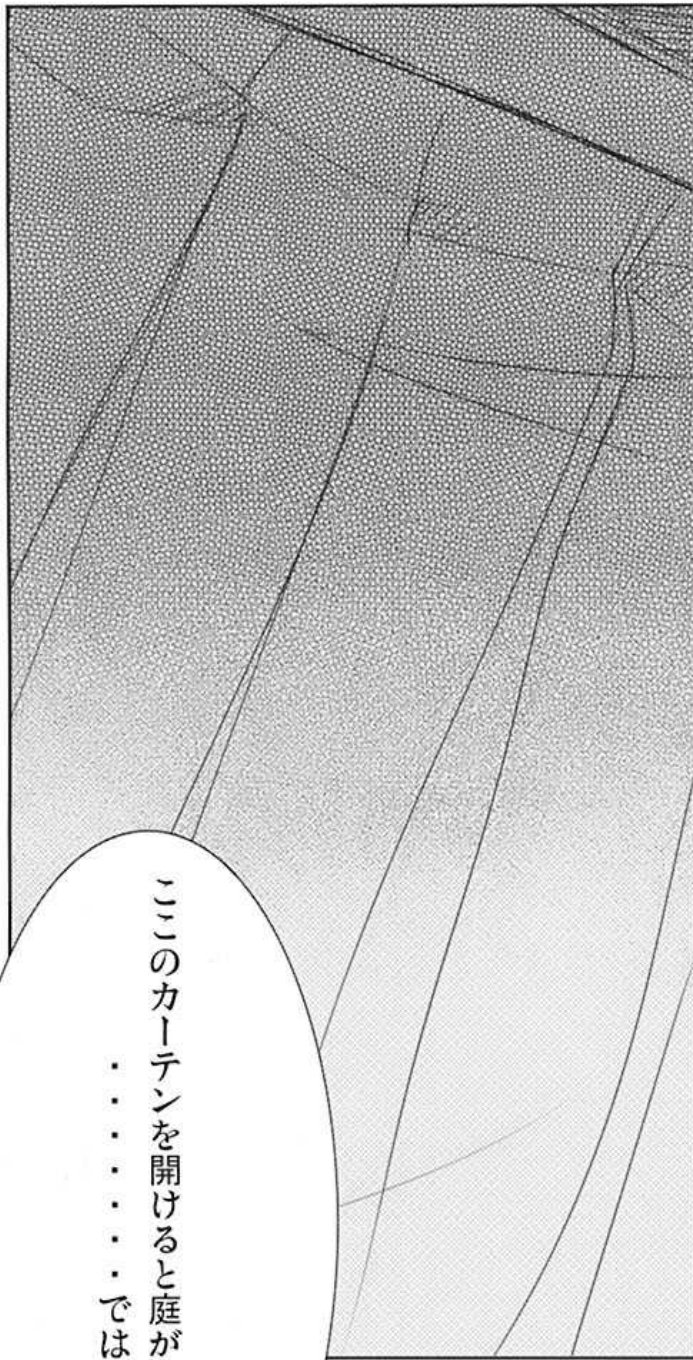




わ、わたしも解らないけど、
とりあえず庭を見てみるのが
いいんじゃないのかしら？
私も庭は昨日から見ていないし。



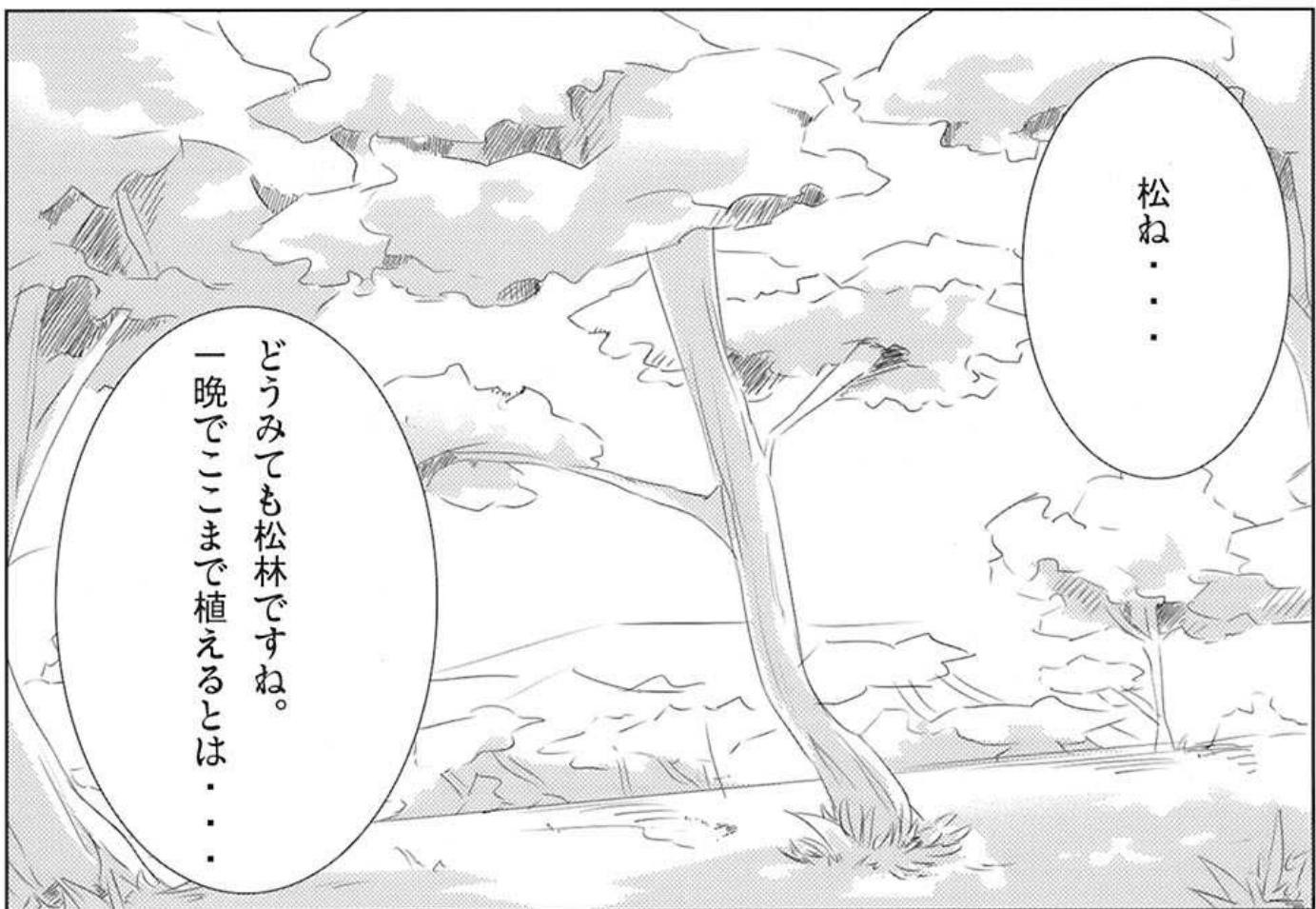
そうだな
それですべて解決するな。
さすがパチエだぜ。



ここのカーテンを開けると庭が一望できます。
……では開きますね。



バツッ！！







ちよっとマツタケが
食べたくなったから松を植えてみたの。
丁度いい広さの庭があつてよかったわ。

自分の庭でやりなさいよ...



温度やp値を調節しないと
生えてすら来ないんだぜ。
しかも今のところ人工的に
栽培するのが無理なんだ。
だから天然のマツタケを
上手く育てるしかないんだ。



でも紫、松植えただけじゃ
マツタケは生えてこないぜ



え、そうなの？



おく
生えてる生えてる



パイ
マツタケは
香りが命だからな。

傘が開いたらせっかくの
香りが失われちゃうんだぜ。



へえ、マツタケって
ほんのちょっと生えてるところを取るのね。
知らなかったです。

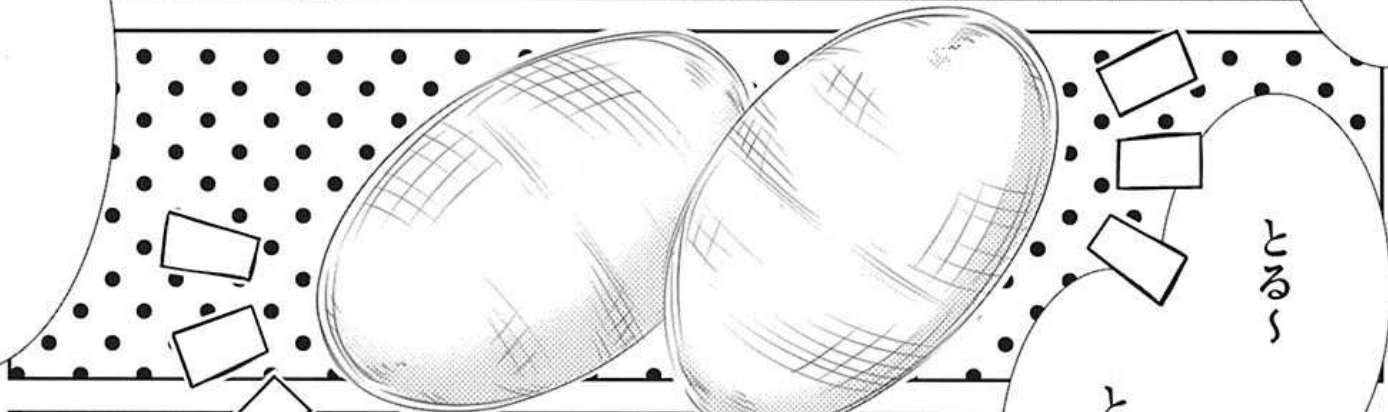


まりさ
とれた

とれた

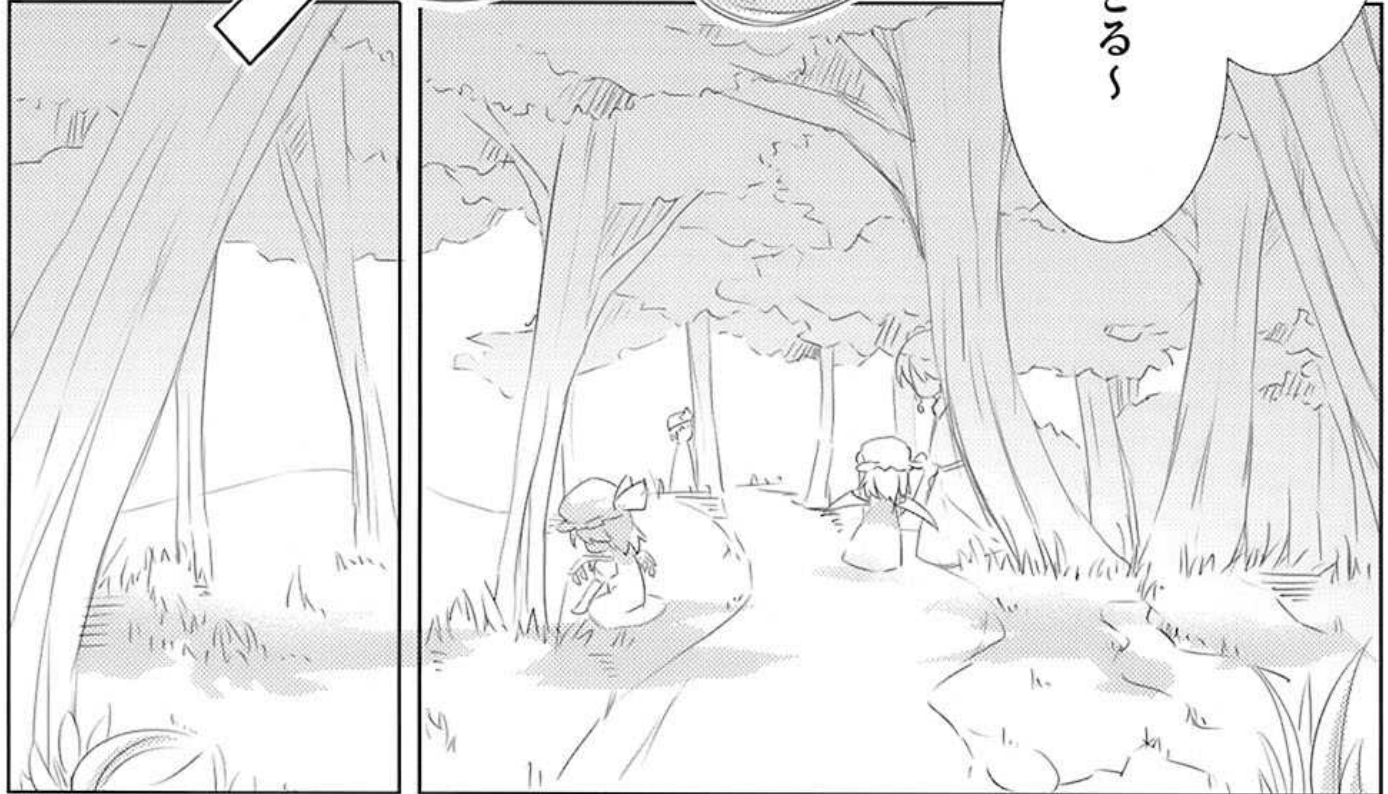
おー！いい感じだぜ！

コレ貸すからさっさと帰ってきなさい



ジュ

ジュ





で?



あら?別に?
ただ暇だったからよ。



いきなりこんなことして、
何のつもりなの?

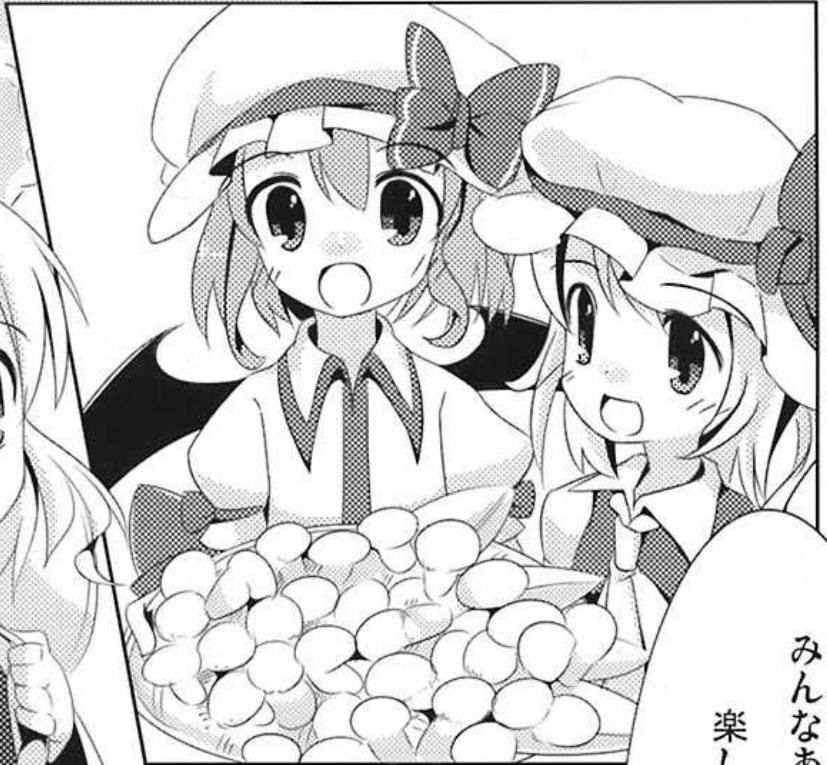


はあ

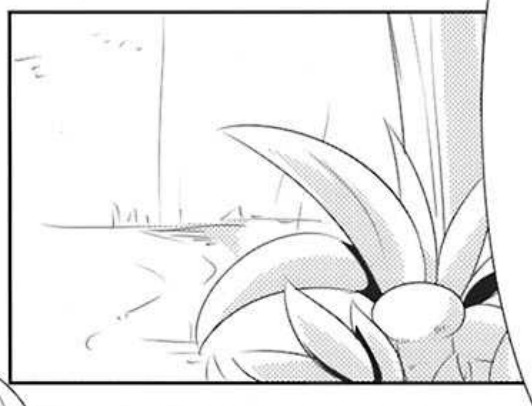
私の気まぐれの事
よく解ってるじゃない。
さすが付き合い長いわね。

そうよね、あなたが
理屈で動くわけ無いわよね。
聞いて損したわ。

でも



みんなあんなに
楽しんでるのなら・・・



あなたの気まぐれも
時々はいいかもしれないわね。



あら？それはまた私の気まぐれに
期待しているって事でいいのかしら？



出来れば今度は事前に
言っておいてくれると助かるわ。
いきなりはちょっとびっくりするしね。



■博麗 霊夢

幻想郷の結界を守っている巫女(本人には自覚なし)
博麗神社の賽銭箱がいっぱいになるのを夢見ている。
好きなものはお茶とお菓子。

■霧雨 魔理沙

霊夢の親友であり、神出鬼没の魔法使い。
いつもいきなり現れては霊夢のお菓子を勝手に食べる。
きのこが大好きできのこに関しては異常に詳しい。

■パチュリー・ノーレッジ

紅魔館に住んでいる文学少女(引きこもり)
本ばかり読んでるので知識はかなりのもの。
とりあえず魔理沙大好き。顔を見るだけで赤くなる。

■十六夜 咲夜

紅魔館のメイド長。あらゆる仕事をそつなくこなす優秀なメイド。
レミリア、フランがアレなので実質紅魔館を仕切ってるのは彼女。
ちなみにレミリアお嬢様大好き。

■レミリア・スカーレット

れみ☆りあ☆う～

■フランドール・スカーレット

フランちゃんうふふ

■紅 美鈴

紅魔館の門番。とてもまじめに仕事をこなす。
だが少しドジでたびたび失敗をする。
最近は庭の手入れをするようになって仕事が増えたらしい。

■八雲 紫

幻想郷のトラブルメーカー
事あるごとに問題を引き起こしては放置してスキマに消える。
幻想郷が大好きで、心の中では住むみんなが幸せになってほしいと思っている。

←表紙没ラフ



ラクガキ咲夜さん→



埋め合わせでいいません...

■あとかき■

はじめましての方は、はじめましてですね。
どうも、小路あゆむです。
ついに初個人本！やったね！
そして無謀にも初漫画に挑戦してみました。
漫画を描いてみて思ったことは「めっちゃ難しい」って事ですかね。
コマ割り、トーン、物語、どれも苦戦しました。
漫画はイラストとはまた違った難しさがありますね。
短い漫画ですが、とてもいい経験になりました。

今年の春先に一本練習用として漫画を描いていたのですが
いつのまにか春が終わって夏が来て秋になってしまうという。
とっても不思議な出来事です。
自分だけ時間が早く流れてるんでしょうか？
ということで秋の物語を急遽考えて描いたのがコレです。
マツタケ狩りにしたのはなんか「秋っぽいから」というのが理由だったり。
ちなみにこんな話描いてますが、僕はきのこ嫌いだったりします。

「マツタケの説明がおかしい」
「生えてる木がどうみても松じゃない」
「マツタケに見えない」
「前半と後半の作画が違う」
それらはすべて気のせいです。突っ込んだら負け。

それはまあ置いておいて
個人的には肝心の内容が上手くまとまっているかが不安ですね。
幻想郷で暮らす面々の日常が伝わって頂けたら幸いです。
今回の本「霊夢さんちのはあい」は
出来ればシリーズ化していきたいと考えてます。
まあ次回作がいつになるかなどはまったく不明ですが…

さてさて、長くつらつらと書いてきましたが
そろそろこのあたりであとかきも終わりにしたいと思います。
今回はこの本を手にとっていただき本当にありがとうございました！
次の機会も僕の本を手にとっていただけたらとても嬉しいです。
これからの予定などはwebの方に随時更新していくのでそちらも是非！

それではこのあたりで失礼致します。

2008/10/5

小路あゆむ



■ 著作 ■

霊夢さんちのぼあい
vol.1: マツタケ狩りに行きませんか？

■ 発行日: 2008/10/5

■ 発行: kuma-puro/ 小路あゆむ

■ web: <http://syouji.yu-nagi.com/>

■ Thanks: 日向あずり
イマムシ

■ 印刷: ねこのしっぽ様



Thank you.
presented by Kuma-puro. 2008